

## コミュニティ福祉学研究科学位授与方針

### ■博士課程前期課程

本課程に原則として2年(4学期)以上在学して所定の単位を修得し、かつ研究指導を受けた上、修士論文を提出して、その審査および最終試験に合格した者に、修士(コミュニティ福祉学)の学位を授与する。本課程の修了者は、下記1の能力と、2における①と②のうちのいずれかの能力を身につけている。

1. コミュニティを基盤とした福祉社会の実現に貢献できる研究テーマを設定して、既存文献を批判的にサーベイした上で独自性のある問いを立てて仮説を導出し、それを適切な研究方法や質的・量的調査によって検証して論文(修士論文)を執筆し、発表する能力。
2. ①社会福祉領域の多様な専門分野の諸課題に精通し、福祉政策及びソーシャルワークに関連する理論や専門知識を深く理解する能力、②コミュニティ政策学と、それに関連する領域から選択された専門分野を深く理解する能力。

### ■博士課程後期課程

本課程に3年(6学期)以上在学して所定の単位を修得し、かつ研究指導を受けた上、博士の学位申請論文を提出して、その審査および最終試験に合格した者に、博士(コミュニティ福祉学)の学位を授与する。ただし、優れた研究業績をあげた者については1年(2学期)以上在学すれば足りるものとする。本課程の修了者は、下記1の能力と、2における①と②のうちのいずれかの能力を身につけている。

1. コミュニティを基盤とした福祉社会の実現に貢献できる研究テーマを設定して、既存文献を批判的にサーベイした上で独自性のある問いを立てて仮説を導出し、それを適切な研究方法や質的・量的調査によって検証して、学術的な貢献度の高い論文(博士論文)を執筆し、国内外の学会に発表する能力。
2. ①大学その他の教育・研究機関で教育者・研究者として活躍できる能力、②社会福祉学やコミュニティ政策学の分野の高度な専門性を活かして企業や公的機関の研究所、民間のシンクタンク、公務員や社会福祉施設・機関、NGO・NPOなどで活躍できる能力。